

1723年(享保8年)、綿布を扱う商店として創業し、現在は布団の製造・卸を営む筑前屋。その小売り部門が今回紹介する「ふとんとギフトのカネチ」である。代表取締役社長の逸見昌郎さん(61)がよく口にするのは「安全と信用」という言葉。間違いない商品作りと消費者に対する誠実な姿勢が、286年という店の歴史を作ってきた。逸見さんの思いに迫った。

ふとんとギフトのカネチ

信頼できる商品を、 気軽にゆつくりと選んでほしい……。 身近に感じられる店作りを進めています。

▶高松市四国屋の斜め前、大きな看板が目
を引く。気軽に選んでほしいという思いで、
スタッフのみなさん、社長の逸見昌郎さん
(左から3人目)を囲んで



Kagawa no Genki jirushi

会社名/筑前屋株式会社
小売店名/ふとんとギフトのカネチ

本社/高松市扇町2-11-1
フリーダイヤル 0120-114090
TEL 087-821-5077
FAX 087-821-5800
http://www.ohuton.co.jp

資本金/2000万円
代表者/代表取締役社長 逸見昌郎
従業員/15人
事業内容/寝具、インテリア(製造・卸・小売り)

沿革……
1723年/現在の高松市丸亀町に創業
1921年(大正10)/株式会社組織変更
46年(昭和21)/高松市扇町2-11-1に住所変更
95年(平成7)/小売店「ふとんとギフトのカネチ」を開始

代表取締役社長 逸見昌郎 へんみまさお
プロフィール……
1947年12月 高松市生まれ
85年 代表取締役社長に就任
現在に至る

趣味:ゴルフ、旅行

店舎跡地前



明治42年撮影

▶かつては高松市丸
亀町で営業していた。
明治42年撮影

▶店内のカフェでは、お茶もできます



▶友の会旅行の思い出は写真……



「ふとんと」ではない、 自信の自社製品づくり

布団は中身が見えない商品でもある。だからこそ、その中身の品質にはこだわってきた。その一つが、羽毛布団での取り組みだ。カネチでは、純度の高い羽毛を産出するポーランドのマザーグース農場と契約を結んでいる。2006年に逸見さんがポーランドまで赴き決めたものだ。ポーランドの寒暖の差が

店内にはほとんどできる空間として、喫茶コーナー「コットンカフェ」も作った。商談での利用だけでなく、「お茶ができる場所」として活用できると喜ばれている。

「カネチをもっと身近な店にしたい。お客様の声を積極的に活かしていきたいんです。使用感はどうか、どんな商品を求めているのか、どんな店を望んでいるのか、お客様との会話の中からそれは汲みとることができると。そのために気軽にきていただけるような間柄を作りたいんです。そんな思いからスタートしたカネチ友の会では、年に1回会員対象の温泉旅行を実施。昨年は白浜、今年は伊勢・鳥羽に出かけた。1回時間か一緒に過ごすことで、気軽に話せる雰囲気生まれますし、お客様への参加者も増えるなど、効果が見えてきています。

もった店を身近に感じしてほしい。様々なサービスで、お客様とくっつきと接近。お客様を、もっと身近な店にしたい。お客様の声を積極的に活かしていきたいんです。使用感はどうか、どんな商品を求めているのか、どんな店を望んでいるのか、お客様との会話の中からそれは汲みとることができると。そのために気軽にきていただけるような間柄を作りたいんです。そんな思いからスタートしたカネチ友の会では、年に1回会員対象の温泉旅行を実施。昨年は白浜、今年は伊勢・鳥羽に出かけた。1回時間か一緒に過ごすことで、気軽に話せる雰囲気生まれますし、お客様への参加者も増えるなど、効果が見えてきています。

ほかにも、羽毛の仕立て直し、布団の打ち直しなどの相談受け付けや、名前の刺繍、枕の無料測定など、様々なサービスを打ち出している。さらに2年前には長男の亮平さん(32)が帰郷、経営に参加した。若い世代の新鮮な視点で店作りのアイデアも広がっている。



▲寝も脱いで、実際に寝ころんでみると、感触がよくわかる